



血液検査で「胃の健康度」

を調べてみませんか？

血液検査
だけで
わかります！

ペプシノゲン法

と

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

の

判定を組み合わせることで、胃の病気になりやすいかどうか4つの群に分類することができます。

胃がんリスク層別化検査 (ABC分類)		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
		陰性(-)	陽性(+)
ペプシノゲン法	陰性(-)	A群	B群
	陽性(+)	D群	C群

ペプシノゲン法

あなたの胃が萎縮しているかどうかを調べる検査です。ペプシノゲン法は、ペプシノゲンIとペプシノゲンIIの二つの検査を組み合わせることで判定します。ペプシノゲン法陽性の方は陰性の人より高い頻度で胃の病気になることが分かっています。

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

あなたの胃がピロリ菌に感染しているかどうかを調べる検査です。ピロリ菌は、胃かきょうや十二指腸かきょう、胃がんなど様々な胃の病気の主な原因であることが分かっています。

ピロリ菌に感染している人すべてが胃の病気になるわけではありません。

A群



健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。ただし逆流性食道炎に注意しましょう。一度は内視鏡などの画像検査を受診しましょう。稀にピロリ菌に感染している方や感染既往（過去感染し今未感染）の方が含まれる場合がありますので、一度は内視鏡検査などの画像検査を受診しましょう。

B群



少し弱った胃です。胃かきょう、十二指腸かきょうなどに注意しましょう。胃がんのリスクもありますので、内視鏡などの画像検査を受診しましょう。また、ピロリ菌の除菌治療も考慮しましょう。

C群



胃がんなどの病気になりやすいタイプです。内視鏡などによる定期的な検査を受け、胃の病気の早期発見、早期治療に努めましょう。また、ピロリ菌の除菌治療も考慮しましょう。

D群



胃が弱っており、胃がんなどの病気になるリスクが高いタイプです。内視鏡などによる定期的な検査を受け、胃の病気の早期発見、早期治療に努めましょう。また、現在もピロリ菌に感染している可能性がありますので、内視鏡検査に加えて他のピロリ菌検査も受けることをお勧めします。

●ピロリ菌を除菌した人

E群



除菌により胃がんなど胃の病気になるリスクは低くなりますが、ゼロにはなりません。定期的な内視鏡検査をお勧めします。

除菌治療により除菌された人は、ABC分類の対象外になりますので、必ずお知らせください。